

# 文教厚生

## 平成17年度決算審査

### 一般会計

**Q** 住民検診等で受診率を高めることが医療費抑制につながり、目標値を設けることで予防や早期発見、医療費抑制の成果が現れると思うがその対策は。

**A** 早期検診や若い人の受診を増やすよう、今後検討して病気を予防し、医療費の抑制を図ってきたい。

ふるさと総合検診



**Q** 延長保育促進事業は、12年から17年にかけて増加傾向にあり、今後の方針では児童への影響等を考慮した場合慎重に検討すべきである。とあるが町の今後の方針はどうか。

**A** 19時以降の延長、夜間保育等はいかがなものか。保護者が育てることが当たり前であり、支援しすぎないように考えていく。

**Q** 外国人講師招致事業について中学校から小学校へと拡大しているが成果は見えているか。

**A** 結果については英語検定の結果のとりまとめを準備中である。

目に見えない成果として、生の英語を聞けることは大切なことと思うし、ヒヤリングの効果もあると思う。

**Q** 社会教育委員の活動はどのようなことをしているか。

**A** 社会教育事業関係の計画・経過や実施状況などに意見や提言を受け事業推進などに反映させている。また社会教育関係の各種大会等にも参加。

### 国民健康保険

**Q** 国民皆保険の国保制度は世界に類をみない医療保険である。今後いかにして堅持していくか、また徴収率の維持が重要であると思うが。

**A** 国保制度は相互扶助を基本として、低所得者に対しても医療を保証するものである。

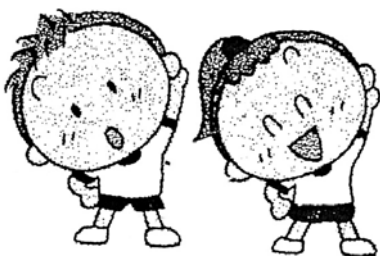
この制度を堅持するために目的税として国保税を納めて頂いて運営している。その収納・運営に努力していかなければならない。

### 介護保険

**Q** 介護サービス受給者の増加、介護する家族の精神的・肉体的な負担の増加等厳しいものがあるが、今後の介護をどのように改善していかなければならないか。

**A** 今年4月から地域包括支援センターを設置。虚弱高齢者から要支援者、要介護にならないように

介護予防を行っていく。  
また地域福祉も推進していく。



現地調査中の委員（室小）

# 補正予算・条例等を審議

## 経済建設

### 〈一般会計〉

- Q 環境保全関連、清掃総務費不法投棄処分料、45万円補正に関し、不法投棄の確認や処理はどうなっているか。
- A 住民からの連絡があった場合、係が確認を行い、氏名が判明すれば、警察に通報する。不明の場合は、業者に処分委託する。



## 総務

### 〈条例制定〉

- 大津町選挙公報の発行に関する条例の制定
- Q 農業委員の選挙も対象になるのか。
- A 町議会議員と町長選挙だけである。
- Q 怪文書に対して選管から指導できないのか。
- A 公選法の中で制限されている。

### 〈補正予算〉

- Q 街灯のカラーポールとカラーでない方の差額はいくらか。
- A 工事込みでカラーは約10万円、カラーでないもの約6万円である。
- Q 立野ダム原石山は買い上げ方針か。



立野ダム原石山の調査

- A 国は購入出来ないため町で買い上げて頂きたいと希望があっている。
- Q たばこ税収は2億円もある。町内で買ってほしいが広報対策は。
- A たばこ組合に説明に行く等協議している。

## 文教厚生

### 〈一般会計〉

- Q 大津北小 学校給水施設改修工事で校舎全体の配管のやり直しは夏休みに行なった方が良かったのではないか。
- A 8月15日に漏水が分かった。今回の障害者自立支援法に伴う補正により、一般財源の負担増加があるのではない。

- A 町独自の地域活動支援事業であり、法改正による組替えと概算見込で計算している。
- 新区分による一人ひとりの支給量が決定し、それに伴う負担と、県の情報や調査等踏まえながら財源の分析を行っていく。

### 〈条例改正〉

- 大津町重度心身障害者医療費助成に関する条例 進行性筋萎縮症者療養等給付と精神通院医療にかかる自己負担額を新たに補助対象経費に加える。障害児施設医療が創設される。
- 大津町国民健康保険条例 出産一時金を30万円から35万円に改定。(死産の場合4ヶ月以降であれば該当)

- 大津町立幼稚園入園料及び保育料減免特別措置条例

- 額の変更 小学一年生の兄・姉がいる場合にも適用

# 問う

## 一般質問 9 議員



月尾純一郎 議員

### 環境教育の取り組みを問う

町長／環境基本計画で検討する  
教育長／環境教育計画に則り実施

21世紀は「環境の世紀」。生命尊厳の上から環境問題は何ものにもまして最重要な問題。中でも環境教育は大切。①移動環境教室事業の取り組み②環境学習センター設置の考え③大津町が環境都市の宣言の考えはあるか。

#### 家入町長

大津町には環境学習の場として、環境美化センターや東部清掃工場、下水道浄化センター、水道企業団等がある。大津町の恵まれた自然を守っていくためには、住民の皆さんも子ども達も学習をしていくことが大事。新たな環境学習センターの設置については菊池環境保全組合とも十分検討していく。

環境都市宣言について



西原広葉樹の植樹と風車の姿

は大津町は平成14年、県下の市町村で2番目にISOの認証を受けている。誘致企業も48社と環境保全協定を結び、24社がISOを取っている。今後、環境基本計画を環境審議会で検討しながら、大津町の環境、自然をしっかりと守っていきたい。

#### 宮崎教育長

各学校では、環境教育全体計画、環境教育年間指導計画を作り、一年間

を通して学習している。例えば、弥護山自然公園や町の涵養林等の移動教室、水俣の県環境センター等での学習を実施している。又、日本環境フォーラムと教育委員会、学校が一緒に進める阿蘇ウインドファームでの学習も本年度より実施している。

### 安全・安心なまちづくりを

町長／まちづくり交付金事業のなかで  
教育長／定期的な総点検を実施する

①大津町は暗いという子ども達や地域の人たちが暗くて危険という箇所の総点検をすべき②大津町は元気な町。町の中心部を始め必要な所に町オリジナルの街灯、スーパ―防犯灯の設置を③「子供110番の家」の総点検と看板を見えやすいものに。

#### 家入町長

まちづくり交付金事業のなかで、住民の皆さんと相談しながら、全体的なまちづくりの一環としてオリジナル的な街灯等も考えていきたいと思う。商業地域や通学ゾーン等それぞれの地域のイメージ等も考えたい。青色街灯やスーパ―防犯灯もしっかり検討して必要な場所にはつけていきたい。

#### 宮崎教育長

教育委員会と学校、保護者、地域が一体となつて、児童生徒の安全を確保するための総点検を定期的に実施していく。

「子ども110番の家」

は町防犯協会が平成9年に設置したが、設置場所の周知を図るとともに、看板の設置や対応マニュアルの作成等も協議していく。

その他の質問

役場の対応は  
住民にもっと優しく

法律相談の日を  
増設せよ



## 障害者自立支援 町施策を早急に

町長／12月をめどに検討する

# 町政を



荒木 俊彦 議員

従来の法律と新法の差を比較して130名ぐらいの方について年間1500万円程度、影響があると試算している。

試算は行なったのか。

障害者自立支援法について3回目の質問であり、10月実施を目前にして、本当の自立を応援する施策の具体化を早急に示すべき。例えば、1000万少々あれば、大分市並みの支援を実行できる。

障害者自立支援法につ

年金生活者への負担増を軽くするため、介護保険で要介護と認定された方々の障害者控除が受けられるよう配慮がなされ

**介護認定者は  
障害者控除が受けられる**  
町長／相談・周知徹底をはかる

ているか。

**家人町長**

介護認定者は、888名のうち、障害者認定さ

**家人町長**

現在、障害福祉計画の策定委員会に施設関係者や身体、知的、精神の関係者も委員になっていただき、町独自の支援策を12月をめどに検討している。

**松永健康福祉課長**

地域生活支援事業のうち相談支援など4事業については、無料に。地域活動支援センターなど4事業のうち、一部は軽減策を行いたい。

①「三吉原北出口線・桜山交差点」が開通したが、歴史的な清正公道が寸断されたのは、かえすがえすも残念である。

②ミルクロードや室小の通学路、楽善周辺などで道路冠水が目立つ。調査して、中長期的な雨水対策を立てるべきでは。

## ミルクロードの 安全対策

町長／改良対策をすすめる

①「三吉原北出口線・桜山交差点」が開通したが、歴史的な清正公道が寸断されたのは、かえすがえすも残念である。

①三吉原北出口線の東側も10月前までには開通させたい。開通後1日3千から5千台近く車両が増えたと予想される。県と相談し、町もある程度の負担を覚悟で、交差点改良や清正公道公園の雨水対策を進めたい。

**家人町長**

## 障害者認定による所得控除

認定区分	所得税	住民税
障害者控除	27万円	26万円
特別障害者控除	40万円	30万円

れた方は18年度は1人だけで、町の相談、説明責任が不足していたと反省している。今後、介護申請される時、税金の申告の中で、周知徹底をはかっていきたい。

その他の質問

小中学生まで医療費の無料化を



通行車両の増加が予想されるミルクロード



行政評価

## 行政評価を問う

### 町長／外部評価を導入する



吉田 忠道 議員

本年3月、大津町振興総合計画を策定した。本計画に基づく諸施策事業の実施の確認、監視、評価ということが極めて重要になってくる。計画が単なる絵に描いた餅であってはならない。次に

重要なことは、実行であり、その監視である。大津町においては、平成13年度から、事業事業評価制度を導入している。約5年が経過するが、評価の現状、問題点及び解決策を問う。なお、今後の評価のあり方として、施策評価を含め外部評価制度の導入が必要であり、かつ、評価結果を住民へ説明する責任があると思うが、町長の考えを問う。

わってきている。しかし、日常業務の進行と成果を職員が明らかに確認し、迅速な改善を行い、住民サービスの向上に結びつけるためには、更なる内部の研究体制を充実させる必要がある。現在の評価が内部評価であり、自己採点、数値目標や評価指数も不十分であり、外部評価を導入したいと考えている。



防災訓練

#### 家入町長

大津町では平成13年度からの事務事業を試行的に取入れて、約450の事務事業について、事業の目的、手段、そして成果の評価を行ってきた。

導入の目的として、事業による成果、効果の検証を行う成果重視の行政運営の転換を図っていくことであり、それに対する職員の意識改革、そして、住民に対する十分な説明責任を果たすことである。5年間実施してきて、職員の意識は少しずつ変

## 防災対策を問う

### 町長／住民参加型の訓練を行う

今年度の総合防災訓練は、11月第一日曜日に実施する計画であるが、訓練のねらい、場所、訓練内容を問う。また、来年度以降の総合防災訓練について計画をどのように考えているか。本年度末には国民保護法に基づく

ところの「大津町国民保護計画」が策定される予定であり、武力攻撃事態等の人的災害発生への対応も考慮する必要があると思うが、町長の考えを問う。

#### 家入町長

今回の防災訓練は、11月5日、中部地区を予定している。地域住民の方々が地区ごとの集合場所に集まり、初期消火訓練等を行う。その後、オークス広場に集団避難を行い、心肺蘇生法の実践、煙体験及び非常用備蓄食糧の炊き出し、試食などの住民参加型の訓練を行う。来年度以降は、大規模総合防災訓練の実施を検討する。



新開 則明 議員

## 工業団地の今後の展望と構想を問う

### 町長／企業進出の条件づくり

その周辺地域において  
家入町長

高尾野工業団地・室工業団地・南部工業団地等、発展の様相が見受けられ、町も大変うれしい事であるが、今後これらの周辺に企業誘致していくのか、将来のため新工業団地の構想と計画が必要になって来るのではないかと。又、今後住民を多く採用（70人位）した場合何か特典は考えられないか。

工業団地を造った方が、いいのではないかと思うが、今、中小企業においても給排水や下水道関連が整備された宅地についても安い値段の要望が強い。現在、都市計画の見直し、用途地域の見直しを十分検討し、町の将来のため工業地域なり住宅地域を考慮して検討して行く。雇用の関係については、税制面の優遇や環境整備費の補助が考えられ、全国的な支援の例として、用水関係や人材関係・環境整備・施設整備や周辺整備促進等がある。中小企業の皆さんの期待に応えるような形で誘致をやっていききたい。



高尾野（中核）工業団地

## 学校防犯対策を問う

### 教育長／安全・安心な学校づくり

幼稚園・小学校・中学校での施設内外における園児・児童・生徒の安全、安心な園・学校づくりを現在どんな形で取り組ん

でいるのか。最近、無線警報システムによる校内・校外の防犯対策が県内市町村で普及しているが、当町ではどう考えて

いるか。又、今までに不審者や災害で児童・生徒を避難または保護した例はあるか。

宮崎教育長

安全教育年間指導計画を年度初め作成しておりその計画に沿って、学校行事や教科等の時間で、防災訓練を含めた安全教育全般を行っている。今後も町の宝である子ども

たちを犯罪や交通事故から守るため、学校・保護者・地域社会・行政が一体となって取組みたいと思う。防犯カメラの設置の検討と一緒に、無線警報システムも考えてみたい。又不審者から声をかけられた件はあるが人的な被害はあってない。

## 環境配慮型用排水路の整備を

### 町長／生物の棲みかう工法で

河川の本流・支流・枝となる流れの水路の位置・形態・機能等の調査はどこまでできているのか、環境配慮型の用排水路が少ないようであるが、どう対処し、自然環境保護を進めていくのか。又用排水路に流入する農薬・異物・汚水の調査はどのように行われているのか。

家入町長

水路の調査や施設の診断で老朽化程度や耐用年数・補修箇所・水路の統廃合や新規幹線水路構想、想定事業費の算出等12月末までに検討案の作成を行う予定である。水路関係等については十分環境



下町地区環境配慮型用排水路

に配慮したものを造っていき、町の役目とする水張り関連のためにもそんな水路が必要と思う。水質調査は、毎年9ヶ所で行い調査測定項目は12項目である。農薬は調査項目に入っていない。



# 教育と少子化対策を問う

教育長／学力向上の環境づくり  
町長／福祉・子育て支援すすめる



永田 和彦議員

厚生労働省の「人口動態調査」によると、昨年1年間の婚姻件数は、6月以降、出生数は今年の1月以降わずかながら増加に転じ、景気回復を反映した形となった。

少子化について様々な議論があるが、結局、高額にならざるを得ない現在の教育環境、子育て環境に対する経済的な理由が最大の原因ではなからうか。そこで国や県に頼らずとも、景気に左右されない独自の教育環境を構築しなければならぬ。予算を増やしても、塾や家庭教師が不要で、高度な教育環境を実現し、少子化だけでなく、あらゆる発展につなげたい。



少子化対策が必要

## 宮崎教育長

子どもたちの学力向上が、私の一番の仕事である。学校では、毎日の授業が一番だが他町村に負けないような教育環境を実現していきたい。

今年のモデル事業として、小学校3年～6年生を対象にした「夏休み子ども合宿」を実施した。

この合宿は、勉強が目的の勉強合宿で日課表の中に、朝、昼、夜と学習時間を設定し、町の学習支援の先生延べ13名、大学生のボランティア延べ7名を講師として実施した。中には、キャンプ的な気持ちで来ていた子どももいたが、最後には、こんなに勉強したのは初めて

## 立石団地建替え 建設工事について

町長／相互評価方式等を検討

工事の概要及び入札結果を見ると、予定価格に対する落札率は98・35%。他の4社による共同企業体の指名競争入札価格も98・35%～99・31%の結果で全体的に高止まりしている。

平成22年度までの財政計画では、縮小傾向をはっきりと出されたのに対し、この結果を見るかぎり町長の政策態度は計画の認識が甘く、旧態依

然のものと思う。地場企業育成も大事だが健全な競争を促し、振興総合計画に沿って、効率的で高機能な自治体を目指すべきである。

入札の結果98・35%という数字は本当に高止まりだなという思いはある。平成13年に入札契約適正法の施行により、予定価格、入札業者、入札結

だというような声もあった。

また年間を通して、学校の教育活動外での大学生・高校生のボランティア、退職教師の活用、また、町独自雇用の学習支援指導員、TT教員の増員などを検討している。

教育と少子化について、

学校教育の検討、子ども合宿モデル事業についても人件費等々について町で補助していきたい。

学校教育の環境を整えるのは、行政の責務であり教育委員会と話し合いながら進めていく。子育ての福祉関係、環境支援もじっくり検討していく。



公共事業

果の公表を行いながら指名競争入札を実施してきた。県、熊本市で一部運用している電子入札システムも、平成23年度から町村にも導入の方向で開発が進められている。

今後、落札率の高止まり傾向であれば、条件付き一般競争入札や、17年4月に施行された「公共

工事の品質確保の促進に関する法律」により、価格と品質、技術力や工事の効率性、安全性、環境への配慮等の両面から評価する相互評価方式による契約等の導入など、今後、町民から理解いただける制度を調査検討したい。

# まちの活性化のためには 人口増加の施策が必要

町長／人口増の計画をやる



商業地域の活性化



坂本 典光 議員

人口増加について  
町の人口が増加すると  
商業が活性化し町全体に  
活気がみなぎる。町民に  
自信もつく。  
①施策として人口を増加  
させようという意志は  
あるか。  
②あったら具体的な案を  
頭の中に描いているか。

③美咲野団地に小学校、  
保育園を作るべきでは  
ないか。

家人町長

①本田技研浜松製作所の  
二輪車生産が全面的に熊  
本製作所に移管されるこ  
とが決まった。従業員も  
大幅に増える。また寮の  
建設問題の話もあがつて  
いる。中核をはじめ、中  
小企業が天津町にやつて  
くる明るい見通しもある  
ので、我々としては天津  
町に住んでもらう方法を  
考えるべきと考える。人  
口増の計画をやるつもり  
である。  
②具体的にはまだ考えて  
いない。  
③当初、学校建設の話が  
あったが、送電線の問題  
で行きづまった。

今の段階で美咲野団地  
には150名の子どもが  
いる。将来的に増加して  
いくと考えねばならない  
が、今の段階では学校区  
の見直しで解決できたら  
と思う。  
保育園については民間  
に任せたい。

## 学校区見直しの件

教育長／平成21年度から

①時期はいつを目標とす  
るか。  
②計画（素案）はできた  
か。  
③いつから具体的に動き  
出すか。

宮崎教育長

①天津町小中学校通学区  
域及び教育施設検討委員  
会に諮問する計画である。  
検討委員会での審議、そ  
れから住民への周知、概  
ね平成21年度からだと思  
えている。  
②具体的な案は現在作成  
していない。しかし、全

## 迫井手圃場整備は 必要なのか

町長／必要と考える

国的に進んでいる学校選  
択制の導入は検討したい。  
③現在検討委員会の設置  
を準備しているので、本  
年10月以降から実質的な  
審議になる。

家人町長

圃場整備の事業主体は  
県である。農地の区画、  
水路、道路を一体として  
工事をするわけで、工事  
費は一反当り200万近  
くかかると言われている。  
その200万を国が50%、  
県が30%、町が13%、受  
益者が7%に按分する。  
中島地区については28  
年の水害の災害復旧で土  
地改良をやったが、現在  
では道路幅が2〜3m、  
それに用排水路が付いて  
いるが非常に老朽化して  
いる。このような中で、  
道路水路関係だけを県の  
補助をもらってやり直す  
としたらその費用は、県  
が40%、町が10%、受益  
者が50%となり、町、受  
益者とも割高になる。全  
体として見た時、個人負  
担の少ない圃場整備とい  
う方法がいいと思う。国  
の政策も集団化へと向い  
ている。

今、生産者米価は1俵  
1万円から1万2千円し  
かない。今から手掛け  
ようとしている迫井手圃  
場整備は必要なのか。



## 男女共同参画推進条例 制定が必要

町長／自治基本条例の中に  
条文化を検討



鈴木ムツヨ議員

大津町では、早くから男女共同参画に取り組み、平成2年に婦人問題懇談会（現大津町男女共同参画推進懇談会）が設置され、第一次から第六次まで懇談会提言がなさ

れてきた。

また、平成13年大津町男女共同参画推進プランが策定され、今年3月改定された。

①提言はどのように活かされているか。

②推進プランの基本目標達成状況はどうなっているか。

③大津町の特性に合わせた実効性のある施策を講ずるためにも条例制定が必要と思われるがいかがか。

### みんなの笑顔で満ちる 男女共同参画推進プラン

「共に輝き 共に生きる」



町花 「つつじ」

平成18年3月

推進プラン

家人町長

近隣市町村に先駆け、性による差別をなくし真の男女平等を企業や団体・地域に呼びかけてきた。

しかしながら、家庭や地域、企業、団体への浸透は必ずしも十分ではなく、更なる努力が必要と認識している。

女性センターは、活動の拠点として重要だが振興総合計画に基づき検討を重ねている。法的根拠となる条例の制定は欠かせないものであるが、まずは推進プランの取り組みの充実とこれから制定する自治基本条例の中に条文化を検討する。

## あけぼの団地の階段に 手すりが必要

町長／高齢者の安全のためにも  
必要、検討する



あけぼの団地階段

あけぼの団地は本田技研工業熊本製作所が昭和

51年から操業開始し、その企業の従業員のために当初は造られた団地と聞いている。大津町繁栄の一つの象徴とも言える。高齢者、障害者、幼児、妊婦、病気の時階段に手すりがないのは、大変不安定であり、外出も容易ではない。早急な取り組みを。

## 災害時における 社会的弱者の避難対策

町長／プランはないが防災力を高める取り組みに着手中

新潟豪雨など平成16年7月に相次いだ豪雨災害で多くの高齢者が被災したことを教訓に、国が平成17年から各自治体に求

めている災害時要援護者のリストが、全国72の主要自治体のうち19自治体のみ。

国は、個人情報保護条

①障害者や高齢者への避難支援プランは策定されているか。

②各地域で自主防災組織作りへの積極的支援はあるか。

あるか。

家人町長

障害者や高齢者の避難支援プランはありませんが、地域福祉ネットワーク事業ということでモデル地区を制定し、1人の孤立も見逃さない地域の福祉力や、防災力を高める取り組みに着手。自主防災組織は現在30地区、未成立の地区も支援する。

家人町長

平成15年度に町営住宅ストック活用計画を策定し、それに基づいて、北出口団地の外壁等の改修をしている。次はあけぼの団地の外壁等の改修を計画。

建設着工・完成	S53年～S59年
棟／戸数	15棟／412戸
5階建	13棟
4階建	1棟
3階建	1棟
エレベーター	なし

## 少子化対策を問う

町長／町独自の特性ある施策を模索したい



手嶋 靖隆議員

現代社会の中で経済が豊かになり日常生活を楽しみたいとして、子どもを産まない風潮になり、その反面医療の進展により寿命は延び、少子高齢化が確実に進行している。このまま少子化が進行すれば社会保障制度の見直しを迫られること必至である。よって政治・経済・地域・家族に及ぼす影響は大である。また、



少子化対策は急務

町独自の、子育て中の世帯に直接経済的支援を行う内容の制度は特に設けておらず、多種多様な子育て支援サービスを幅広く提供し、いろいろな子育ての状況の中で保護者に対応できる施策を取っている。

平成15年度に制定された次世代育成支援対策推進法で、300人を超える事業主は一般事業主行動計画の策定が義務付けられ、熊本県内では対象となる124の事業所ですべて策定を終えている。熊本県の場合、中小企業が多く、育児休業や子育て期間中の勤務時間の短縮、子どもの介護休暇な

### 家人町長

年金や医療、介護など社会保障制度を持続可能にするためにも対策を見直し、事業の促進が急務と思われる。下記項目についての所見を伺いたい。

- ①子育て世代への独自の経済支援の制度化。
- ②企業への協力要請、経過、進捗は。
- ③未婚者の解消促進支援。

どの制度を導入できない企業が多い。

大津町では農業後継者の独身交流を実施している。今年も11月に予定している。その中から過去に2〜3組が結婚している。結婚や出産は極めて個人的なことであり、行政の関与は難しいが、その対策は検討していきたい。

## 第三セクターの運営を問う

町長／運営の改善と施設の活用促進を図る

本町と民間において第三セクターを設立して地域経済の活性化に貢献してきたが、しかしながら、運営の成否によって行財政に及ぼす影響が懸念される。未だに行財政の位置づけは不明確で公共性を維持しながら信用と収益を目的とする民間資本との結合体であるため、活動分野における組織の意思疎通が欠ける点が見受けられ、出資者間の意思統一、整合性を十分に確保することが肝要と思うが、所見を伺いたい。

### 家人町長

平成9年に大津温泉岩戸の里、株式会社大津町振興公社を設立した。本年度については累積赤字であるが、単年度では黒

字となり経営も安定してきた。今後は学校教育並びに生涯学習の施設活用を推進し運営については鋭意努力し温泉が地元からなくならないようにしたいと思う。

道の駅、文化の森は平成4年地方自治体が3分の1の出資を条件で事業の展開を行ってきたが当初の原資の減額を余儀なくされた。

今後の経営内容については大変厳しい状況のなか今期の業績は103%の増収となったが、18年度以降の税負担の増加等で結果的にマイナスとなる。18年3月以降の後期については経営状況を、しっかりと見定め運営内容を十分に把握し今後は決断をさせて頂きたい。



道の駅



## 教育向上に

### 春夏秋冬花の咲く校庭を

#### 教育長／学校の創意工夫で



藤森昭二朗 議員

人間の脳の成長の過程には、3歳頃までに脳細胞をつなぐ神経細胞の回路が約8割方できるそうだ。10歳頃、大脳辺縁系

で感情が目覚め、知性に対する前頭連合野は、10歳くらいになってから活発に機能するとのこと、こうした脳の成長に応じた教育が必要とのこと。子どもは、早期英才教育より遊びが大事。

まさに、校内は、勉強して遊びのできる居場所である。大津町で専門のチームを作り大津町内の幼・保・小中学校を回り

菜園、花壇、校庭内の庭の手入れを先生達と連携し、子ども達を主役にした教育ができないか。

#### 宮崎教育長

学校には、学校花壇、

学級花壇、学級園と呼ばれるものがあり、それから、児童会や生徒関係が使う花壇と他と交流しながら花を育てている交流花壇など、学校によって様々である。

学校は、四季折々の花が咲き乱れ、きれいに手入れされている方が、子どもたちの感性や心の安定、情緒的な面にも良い影響を与えるものだと思う。

いままでどおり、専門の人を町で雇うのではなく、学校の創意工夫で、地域やPTA、そして先生と子どもたちが一緒になって、花が咲き誇る学校を目指してほしい。花の苗や種、肥料等の確保については検討し応援したいと思う。



学校花壇（北中）

## 大津南部地域活性計画 （立野ダム関連）策定について

町長／今回の計画は500万円



白川（内牧付近）

- 立野ダム計画の下流、白川の両岸には生かされていない観光スポットが多数ある。地域一丸となって生かせないか。
- ☆上井手か下井手の取り入れ口に鮎築場を
- ☆上井手取り入れ口の堰の下より下井手の取り入れ口の堰までカヌーの練習場を
- ☆岩戸温泉の東側の芝生にキャンプカーの基地とキャンプ場を
- ☆岩戸温泉の宿泊施設化
- ☆岩戸温泉より黒川第三発電所への吊り橋を
- ☆俵山トンネル出口にある町有地を利用しゲレンデ付のローラーコースを岩戸温泉までつくる
- ☆岩戸温泉の裏より北向山の山頂に向かって日本一の石段造りをして、展望所造り、阿蘇カルデラの大パノラマ、風力発電所を見下ろすスポットに。

#### 家入町長

昭和58年から事業開始している立野ダム工事の関係で、ダム本来のコンクリートの骨材採取を行う原石山、それから出てくる廃土、土捨て場、そして、そこまでの工事用道路の3点を立野ダム事務所に要望している。

本当にすばらしい地域であり、それをまとめるために、国土交通省から450万円の補助を受け500万円で今回計画している。

現在、山村レクリエーション地区計画、都市計画マスタープラン、岩戸溪谷周辺地域整備基本計画などの計画の進捗状況や、課題や、今後の整備方法の洗い出しがなされている。

具体的には、岩戸温泉の活性化、北向山あるいは岩戸溪谷の活用、白川の活用、新しい観光資源の開発について県道のバイパス的な意味において県にお願いをしている。